

かわ ま た かず お

川真田和汪

オートバイを浮かせ！
—自動車・バイクの独創的エンジニア—川真田和汪 (1901 ~ 1984)
出典：『名古屋オートバイ王国』

車「ローランド号」を製作する。その後、改良されて東京自動車製造から「筑波」として1938(昭和13)年までに約130台生産されている。

■刈谷から全国へ販売した「トヨモーター」

川真田は1949(昭和24)年刈谷市で自転車に取り付ける補助エンジン、バイクモーターの研究開発に本格的に取り掛かっていた。日新通商(現:豊田通商)、刈谷工機(現:ジェイテクト)などトヨタグループの支援を受けて、(株)トヨモータースを設立した。

全国のトヨタ自販の代理店を通じて販売、普及し人気を集め、1953年には注文が殺到し、同年5月には月産1万台を達成している。トヨモータースはホンダのほか、スズキ、ヤマハ等の後発メーカーの製品開発や技術革新に遅れるようになり1959年に倒産した。負債総額は約11億円にもなった。



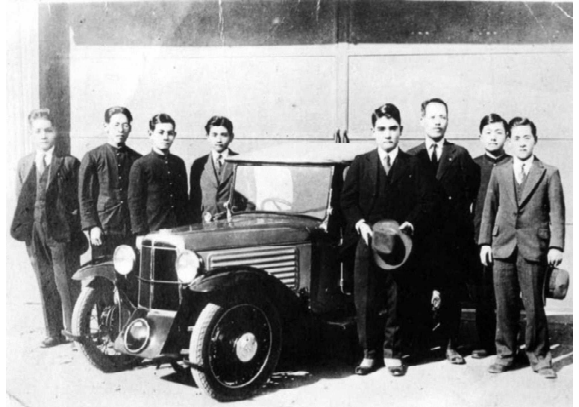
トヨモーター雪上バイク試作車 (1951)

出典『名古屋オートバイ王国』

■オートバイレーサーから独学で小型自動車を製作

トヨモータースの創業者、川真田和汪は1901(明治34)年徳島県徳島町に生まれ、戦後のオートバイ産業の先駆的な経営者のひとりとして名を残すだけでなく、若き日は黎明期のオートバイレースの名選手としても活躍した。また、エンジニアとして国産自動車の発展にも貢献した多才な人物だった。

20代から米国製ハーレーの専属選手として活躍、その走りは「冒険的疾走」と騒がれた。彼は選手時代から独学で内燃機関の研究に取り組み、1931(昭和6)年30歳時に日本初の前輪駆動方式の小型四輪自動車



ローランド号 (東京芝浦 1931年)

出典『名古屋オートバイ王国』

トヨモーター1号車完成記念・トヨモータース工場(1949)
向かって右から2番目が川真田 出典『名古屋オートバイ王国』

■「オートバイを浮かせ」、夢のドリームバイク

川真田は「オートバイを浮かせ」が口癖で、雪国、離島、山間地などの交通不便地で手軽に走行できるバイクとして、現代のスノーモービルや水上バイクの原型というべきとなるバイクを研究・試作する。また、軽3輪貨物自動車の原型となる前2輪、後1輪の3輪バイク「トヨライト」を発案した。

(富成一也)